

情 報 公 開 文 書

研究の名称	富山県「子どもほっとライン」の取り組み COVID-19 の前後の変化に着目して
整理番号	
研究機関の名称	国立大学法人 富山大学
研究責任者	学術研究部医学系 公衆衛生学講座 教授 稲寺秀邦
研究の概要	<p>【研究対象者】 2015年1月から2022年9月末までに、富山県 教育委員会 生涯・文化財室 子どもほっとラインを利用された方です。</p> <p>【研究の目的・意義】 新型コロナウイルス（coronavirus disease 2019；COVID-19）の感染拡大に伴い、休校・休業・テレワークなど自粛生活を余儀なくされ、多くの人々は、何らかの心理的ストレスを感じています。富山県内では、非対面で子ども達の健康をサポートしている相談事業の1つとして「子どもほっとライン」があります。子どもほっとラインは、COVID-19の中でも通常通りに業務が行われてきました。このことは、子どもたちの心理的变化を捉えるうえで非常に重要なことであると予測されます。本研究では、子どもほっとラインにおける相談件数・相談者の年齢層・相談方法の推移を明らかにし、COVID-19の流行と子どもほっとラインにおける相談件数や内容の変化について明らかにすることを目的にします。</p> <p>【研究の方法】 富山県庁 教育委員会 生涯学習・文化財室 子どもほっとライン事業へ寄せられたデータに基づき解析を行います。本研究のための新たな情報収集は行いません。</p> <p>【研究期間】 2021年2月8日～2025年3月31日</p> <p>【研究結果の公表の方法】 研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も相談者を特定できる個人情報を利用しません。</p>
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法（他機関への提供の有無）	相談件数、相談者の年代、相談方法、相談内容 その際、利用する情報からは、お名前、住所など、相談者を直接同定できる個人情報は削除します。
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び施設責任者氏名	富山大学 学術研究部医学系 公衆衛生学講座 稲寺 秀邦・教授
研究資料の開示	研究対象者、親族等関係者のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。
試料・情報の管理責任者（研究主機関における研究責任者氏名）	富山大学 学術研究部医学系 公衆衛生学講座 稲寺 秀邦・教授
研究対象者、親族等関係者からの相談等への対応窓口	研究対象者からの除外（試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む）を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。 TEL:076-434-7279 FAX:076-434-5023 E-MAIL inadera@med.u-toyama.ac.jp

	富山大学 学術研究部医学系 公衆衛生学講座 稲寺 秀邦・教授
--	-----------------------------------